

昭和十七年七月二十五日 印刷  
昭和十七年八月一日 (毎月一回一日發行)

禁轉載

# 道路の改良

第二十四卷  
第八號

社団法人  
道路改良會

鋪裝報國

日本鋪道株式會社

東京・丸ノ内

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

# 飛行場舗装 道路舗装

加熱式アスファルト  
アスファルト乳劑  
セメントコンクリート

## アスファルト乳劑製造



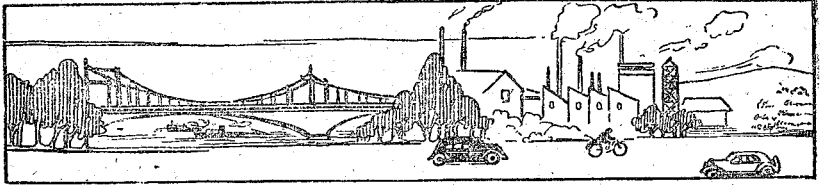
## 東京瀝材工業株式會社

本 社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地  
(三和ビル)

電話(日本橋) 二六六六番  
五五一一番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地  
電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地



道路の改良 第二十四卷 第八號 目次 昭和十七年八月一日發行

卷頭言

論 說

東亞經濟に於ける自動車及道路……………明治大學教授 麻生平八郎(三)

研 究

セイロンとスエズの狀況(上)……………H T 生(四)

獨逸の交通取締規則(四)……………多 田 基(三)

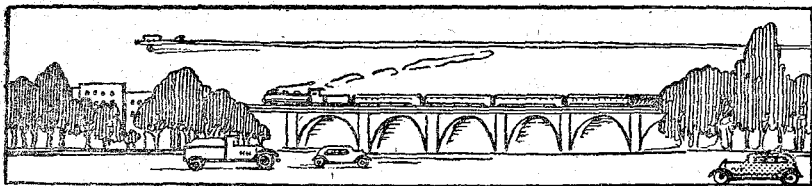
說 苑

歴代内務土木局長と其時代Ⅱ 成田一郎氏(下)……………清 水 生(五)

われらのルート……………長谷川久一(五)

第二回道路愛護日實施に關する概要……………群馬縣 土木課(五)

時 局 日 誌(五十八)……………Y H 生(六)



内務省特報

内務省告示◎七月七日内務省發表地方官の任命

(五四)

地方通信

愛知縣便り……其他

(九八)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

○ N 生(一〇一)

雜報

◎道路功績者の表彰◎特別會員竝に評議員委囑◎内務省委員◎丹羽氏行氏◎宮城長五郎氏

◎本會幹事小島效◎内務省土木試験所談話會◎河村協著竹筋コンクリート◎市政概要◎近

刊圖書雜誌……………(一四)

叙任辭令……………(一七)

編輯室の内外……………(一九)

土木實務者の獨修書

# 實用地土木講座

初級と上級

中等程度

## 移轉記念 新會員臨時募集

時局の要求に即應し、鐵道工學講座と協同經營の爲、這般左記に事務所を移轉す。

土木は國民生活の基緒にして、國本的技術として高度國防の基本的一環を成し、特に航空及防空土木は國民須知の新技術である。

新東亞建設の第一歩は土木日本の大陸進出に在り。行け！土木家は南方の新天地に!!! 國力伸張のため將た大東亞興隆のため。

土木を以て立身奉公せんと欲する人のために、鳥國日本より大東亞の新天地へと進出報國を期する人のために、本講座を捧げる。

▼兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜管下に、内務・鐵道・農林・遞信四省、東大・日大・企畫院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。

▼初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配本可能。

▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土地地質學・土木工事監督・續土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓七拾錢(但第十三號に限り金貳圓)前納。全卷即時配本可能。送料(暫定)每卷内地十四錢。臺・樺・鮮・南洋・滿・支各二十錢各自負擔。

内容見本無代進呈

新事務所 東京市麹町區飯田町二ノ一 一番地

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番

內務省企畫院興亞院技術官編纂  
 斯界專門 大家約六十氏執筆

# 國土建設技術新書 全七編 五五冊

體配 各冊B6判橫組一三〇頁一二五〇頁  
 定本 八月下旬より毎月二冊位づゝ刊行  
 込價 各冊不同、一圓三〇錢一圓二圓  
 最寄り書店又は發行所へ豫約申込乞ふ

## 豫約大募集

一、本叢書の刊行は決戦下の國土計畫上最も緊要なる日本の技術を普及し、高度國防國家建設に貢獻せんとするにある

二、内容は下記七編五十五冊にして、何れも第一線に活躍中の技術權威者が専門得意の部門を擔當執筆せらる

三、新時代に即應した建設技術の公開計畫施工の現業直接指導の本叢書の編輯方針である、どの一冊も實務家學生の無二の活寶典たるを確信する

内容見本進呈

發行所

- 〔港灣編〕
- 〔河川編〕
- 〔水力編〕
- 〔道路編〕
- 〔橋梁編〕
- 〔都市計畫編〕
- 〔上下水道編〕

波と防波堤・海中構造物の施工・浚渫工事・浚渫船の建造と修理・臨海工業地帯造成・洗没ケーソンの曳揚  
 治水・日本の河川・北支の河川・中支の河川・堤防・土工・流量測定・護岸水制・洪水調節・樋門樋管・砂防・水防  
 水力調査・堰堤・水路工作物・調壓水槽及水壓鐵管・發電地點の揀定と計畫・發電所設備・送電用支持物の設計施工  
 自動車専用道路の設計・山嶽地方の道路設計と施工坂路の鋪裝・貧配合コンクリート鋪裝・特異セメント鋪裝・コンクリート鋪裝の諸問題・コンクリート鋪裝の目地鑿淨・コンクリート鋪裝・世界各國の道路

橋梁下部構造・鋼板桁橋・ランガー桁とローゼ桁理論と設計・ランガー桁とローゼ桁計算例・橋梁の支承較ロツカ  
 國土計畫と土木技術・都市構築論・街路計畫・土地區劃整理論・土木防空・ソ聯の都市計畫・ドイツの國土計畫都市計畫  
 水道事業の動向・管瀆過・沈澱・水質と其の試験・器具機械・取水・配水・給水・雨量・促進汚泥法・汚泥處理・私設下水道

東京市小石川區諏訪町  
 振替東京七一七五八番  
 電話(85)一三二一六番

常磐書房

改訂増補出來！

# 道路職員必携

本書は道路改良計畫並に其の設計の指針として、本會が特に道路技術並に行政の權威者三十餘名の方に執筆を依頼し完成したるものにして、内容は豊富に且つ記述も實に精緻を極めたもので、印刷装幀も鮮麗優雅にて携帯に便なるハンドブックである。

殊に道路構造令・街路構造令及細則につきても詳細に記載せる點に於ては、他に未だ嘗てその比を見ざるものにして斯界人士の必須書である。

目次 第一編總論、第二編道路の設計、第三編土工、第四編道路の排水設備、第五編舗裝の構造及施工、第六編工作物、第七編都市計畫街路、第八編交通整理及街路照明の施設、第九編道路材料、第十編維持及修繕、第十一編道路用器具機械、第十二編示方書、第十三編法規、(附録 測量に關する諸表其他)

増補頁一八五頁

發行 社団法人 道路改良會  
發賣所 好文館書店

東京市小石川區諏訪町五十六番地  
振替 東京 〇二番  
電話 小石川 (85) 三六九番

A6判 一、二五六頁  
レザークロース裝函入  
定價 金五圓  
送料 {内地 金二十錢  
臺灣、朝鮮、滿洲、  
支那 金廿八錢}



昭和十七年

道路の改良

八月一日

第四十二卷  
第八號

徒らに外國の力を恃んで我帝國に挑戦し來り茲に支那事變の發生を見るに至り、惡戰苦闘遂に克く敵國を  
 摺伏せしめんとするに及んだ。更らに米英兩國は東亞を永久に隸屬的地位に置かんとする頑迷なる態度を改  
 めず、百方支那事變の收結を妨碍し、剩へ經濟斷交を取てして我帝國を孤立せしめ帝國に重大なる脅威を加  
 へ其の存立をすら殆からしめんとするに至つた、米英に對して戰端を開かざるを得ざらしめたのである。

米英兩國が支那に於ける殘存政權を支援して東亞の禍亂を助長し或は蘭印を使喚し或は佛印を脅威し或は  
 帝國と泰國との親交を裂かんとし其の策動至らざるを見て我國如何で黙視するに忍んや支那事變の連續  
 として大東亞戰爭の開始は實に已むを得ざるものあるは昭和十六年十二月八日の大詔渙發に依りて明かであ  
 る。

大東亞戰爭が昭和十六年十二月八日に勃發して以來僅かに八ヶ月に滿たず、而かも陸海軍の精銳は戦へば  
 必ず勝ち、攻むれば必ず之を略せざるなく全く向ふ所敵なく、戦果は雄渾なる規模の下に繰り擴げられ、西  
 は印度洋を超へてセイロン、マダガスカル島に及び、南は太平洋を歴して濠洲に迫り、東は亞米利加合衆國  
 の沿岸を脅かし、北はアリューシャン群島を制し其の廣袤數千哩の水域を包含し、大陸亦我に幾倍するの地  
 域を占領することとなつた、偉なるかな戦果の大なることよ。

御稜威の下皇軍の神速果敢なる進撃は已に緒戦に於て大勢を決し連戦連勝東亞に於ける敵重要據點は悉く  
 皇軍の掌握する所となり一面早くも建設が進められて居る、寔に感激に堪えざる所である。然しながら斯か  
 る光榮なる時代の現出せるは一朝一夕に成るものでない、實に米英的民主主義、ユダヤ、ロシア的共產主義  
 に縛せられた亞細亞諸國を救ひ諸民族をその據らしむる所に據らしむる興亞の聖業は挺身先覺者を以て任じ  
 敢て犠牲となるも省みずして殉國の烈士となりたる幾多愛國の志士ありしを思はざるを得ないのである。

「背私向公、不惜身命」底の烈々たる殉國の志士例へば荒尾精の如き岸田吟香の如き根津一の如き浦敏一の  
 如き、横川省三、沖積介の如き實に亞細亞恢復の爲め、東亞興隆の爲め將又字内一統、八紘爲宇を企圖し血  
 涙を飲んで苦闘したる其の功績は忘れんと欲して忘るる能はず、其の大亞細亞恢弘の偉業の爲めに悲壯悽絶  
 なる志士殉國の經歷を偲へば轉た血淚自ら下るを覺ゆ。嗚呼。(洮民)